

令和二年度 最上校入学式 祝辞

P T A 会長 山口 仁 様

花の便りに、心を弾ませる季節になりました。

「二十三名」の新入生の皆様、山形県立新庄北高等学校最上校へのご入学、誠におめでとうございます。この最上校を選んでくださったことに、在校生は勿論、P T A や最上校同窓会、地域の多くの方々が心から喜び、感謝しているところです。

あわせて、保護者の皆様にも心よりお祝いとお礼を申し上げます。

さて、皆様は今日から最上校生となり、三年間たくさんさんのことを学び、経験していきます。その中で友を作り、絶えず挑戦しながら、毎日が笑顔で溢れるような、ワクワクできる高校生活を送ってください。

最上校は、福祉教育やボランティア活動など、小規模校の利点である機動力を発揮して、地域に根差した「全人教育」を実践し、地域のみなさんからとても愛されている学校です。

また、最上校の先生方は、皆様のことを一生懸命考え、支え、励まし、応援してくださる方ばかりです。ですから、心配しなくても大丈夫です。必ず皆様の力になってくださるはずです。

三年間はあつと言う間です。

皆様の学校生活が充実したものになるように、私たちP T A は、最上校を支えてくださる地域の皆様と一緒に、全力でサポートさせて頂きます。

本日の入学式は、新型コロナウイルス感染症防止のために、会場や進行に様々な制限があり、例年と異なった式典になってしまいました。今回の騒動が一日も早く解消されることを願うとともに、送転の発想によって、最上校生の皆様がさらに強固な「ワン・チーム」になって、大切な日々の中に何かしらをプラスして欲しいと願っております。

今後は、皆様により最上校の新しい歴史が創られていきます。「地域を支え、地域から愛される最上校」として、地域みんなの熱いエールを希望に変えて、未来に繋いでくれると信じています。

結びに、新入生の皆様のご健勝と、今後のご活躍を心から願い、祝辞とさせて頂きます。